

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	消防総務課長	秋元 弘和
消防-02	実施事業	消防施設管理事業	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課 消防総務課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。
効果	災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<p>・各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行った。</p>
------------------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	18,211	23,372	当初予算(千円)	27,842		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	18,211	23,372	一般財源	27,842		
	人員配置数	1.0	1	人員配置数	1.0		
事業経費運営	人件費(千円)	8,091	8,447	人件費(千円)	8,308		
	総事業費(千円)	26,302	31,819	総事業費(千円)	36,150		
	市民1人当りの経費(円)	149	180	市民1人当りの経費(円)	205		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
	事業内容・予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	限られた予算内で、公共施設再編計画等を基に各消防庁舎の将来を見据えた、改修・修繕を進めていく。	

総評(評価に対する考え方、根拠等)	消防の活動拠点となる消防庁舎は、職員の待機場所や車両・資機材の収納を考慮しつつ、それらを十分に活用できるよう、必要な箇所の維持管理を行わなければならない。
-------------------	---

令和元年度(2019年度)事業実施にあつての課題(前年度未解決の事項を含む)	老朽化が著しい消防庁舎の維持管理は、公共施設再編計画の進捗を注視しつつ、適切な維持補修を実施する必要がある。							
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	限られた財源を適正に執行するため、各施設の破損状況等を把握し、優先順位を付け修繕を実施した。							<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	なし。							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名								
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	消防施設の管理					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
消防庁舎の修繕を行い、地域の防災拠点としての機能を維持していく。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			
	実績値	50.0	80.0	80.0	80.0	80.0	85.0			
	達成率	50.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	85.0%			

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	今後の公共施設再編計画等を勘案し、効率的な庁舎改修・修繕を実施し、防災拠点としての機能を維持していく必要がある。									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--